

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2023年12月16日

事業所名:

サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	グループの人数を調整しスペースを確保できるように配慮している。	【はい】86%【どちらともいえない】12%【わからない】2%【ご意見】	
	2 職員の適切な配置	法令で必要とされている指導員を配置している。	【はい】96%【どちらともいえない】2%【わからない】2%【ご意見】	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	構造化によって各部屋では決められた活動のみを行ない、児童の特性に配慮している。バリアフリーにはなっていないが、利用者に怪我がないように注意している。	【はい】90%【わからない】10%【ご意見】	現在のところ、施設内部の改修工事等は予定していない。今後も利用者に怪我の無いように努める。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	職員全員の検温、週2回の抗原検査の実施。療育後は清掃、塩素消毒(机、イス、玩具等)を行っている。職員のマスク着用については8月より個人の判断を基本としている。	【はい】92%【どちらともいえない】6%【わからない】2%【ご意見】支援員のマスク着用は、子供の言葉の遅れ、表情の読み取りにくさにつながっていると思うので、発達のために外して頂きたいです。	次年度も兵庫県の新型コロナウイルス感染症病原体検査の実施があれば申請を検討する。マスクの着用については、個人の判断を基本としているが、保護者の要望に合わせて着脱するようにする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議において、利用者の状況を確認し、目標設定と振り返りを行なっている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は行っていない。		今後、必要に応じて検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員の資質向上に役立つ研修・講習会について、職員間で情報交換を行ない、受講を奨励している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	療育活動の中でインフォーマルなアセスメントを毎回行ない、支援計画の作成に活かせるようにしている。	【はい】96%【どちらともいえない】2%【わからない】2%【ご意見】子どもの困り事だけでなく、親の困り事にも親身に寄り添っていただけています。/年1回聞き取りしてくれる。都度相談・対応してくれている。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動(課題)と小集団での活動(運動・休憩)を組み合わせ、各児童のニーズを把握して計画書を作成している。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の内容を、保護者にわかりやすいように具体的な記載を心掛けている。	【はい】94%【どちらともいえない】4%【わからない】2%【ご意見】	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	作成した支援計画に基づき療育活動を行なっている。	【はい】94%【どちらともいえない】2%【わからない】4%	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	責任者が活動プログラムを立案し、その内容を職員全員が理解・共有できるようにしている。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	新学期や長期休暇終了の時期に状態が不安定になる児童もいるので、各児童の状態に応じて課題内容やスケジュールを調整している。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1日のスケジュールは、課題・休憩・運動の組み合わせであるが、内容については固定化しないように配慮している。	【はい】90%【どちらともいえない】2%【わからない】8%【ご意見】	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日の朝礼において、役割分担や支援内容、注意点等を確認している。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に担当児童の療育の様子を記録用紙に記入。そのあと回覧し、情報の共有化を図っている。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援終了後に担当児童の療育の様子を記録用紙に記入。次回の療育でアセスメントしたい事項や注意点等も記入し継続して実施できるように取り組んでいる。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	法令に基づき6ヶ月ごとのモニタリング及び個別支援計画の見直し、作成を行なっている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議へは積極的に参加し、関係機関と情報共有・連携することで、児童の状態の安定・成長に努めている。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者からの要望に応じて、保育園・幼稚園等に連絡をとり、また訪問等を行ない、児童の様子を把握し、情報提供や情報共有を行なっている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者からの要望に応じて、移行支援のための情報提供を行なっている。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	一般社団法人発育発達アソシエイトの発育発達、学習発達についての講座の受講を促進している。		必要に応じて専門機関との連携を考え、研修の機会があれば検討する。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童の特性を考慮し、交流活動等は行っていない。	【はい】25%【どちらともいえない】12% 【いいえ】23%【わからない】40%【ご意見】	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	施設周辺の中学校の職業体験(トライやる)の受け入れを行なっている。本年度は5月と9月に各1校(生徒2名)ずつを受け入れ、職業体験を行なった。		中学校の職業体験の受け入れを今後も検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	施設の見学時、契約時に支援内容、利用者負担額等の説明をしている。	【はい】98%【どちらともいえない】2%【ご意見】子どもの事や保護者の不安もしっかりと聞いて下さり、安心してこちらも聞く事ができて感謝しています。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングの際に、学校や家庭での困り事をお尋ねし、支援計画を立て、支援内容を保護者に確認していただいている。	【はい】98%【いいえ】2%【ご意見】	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	他の事業所と合同でペアレント・トレーニングの講習会を開催した。	【はい】60%【どちらともいえない】20%【いいえ】7%【わからない】13%【ご意見】毎回きちんとフィードバックしていただけています。	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者との共通理解が持てるよう、申し送りの時間に、児童の様子をお伝えしている。	【はい】98%【どちらともいえない】2%【ご意見】指導員に差を感じる時はある。子どもの情報がひとまとめになっているのかな、と思う時がある。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談に対して申し送りの時間等にお話しをして、別の助言等があれば、次の来所時にお話しするようにしている。面談については保護者から希望があった場合にその都度実施している。	【はい】92%【どちらともいえない】8%【ご意見】面談形式でなくても利用の度にお話をさせて頂いており十分で、ありがたいと思っています。	相談しやすい環境を整えていきたいと考えています。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の開催等の活動は行っていない。	【はい】10%【どちらともいえない】10%【いいえ】38%【わからない】42%【ご意見】特に必要だと思わない。	今後の検討課題とさせていただきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情等があった場合は、速やかに丁寧に対応できるように努めている。	【はい】71%【どちらともいえない】6%【わからない】23%【ご意見】苦情がない。	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童には視覚支援等で意思の疎通や情報伝達のための配慮を心掛けている。保護者には口頭だけでなく連絡ノートに記入してお伝えしている。	【はい】98%【わからない】2%【ご意見】	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報等の発行は行っていない。活動の概要についてはきららのホームページに掲載している。大雨警報等の連絡はラインや電話で行っている。	【はい】32%【どちらともいえない】13%【いいえ】10%【わからない】45%【ご意見】知らない。更新は定期的ではないと思いますが、HPは活動内容がわかりやすいと思います。	HPでの自己評価表の更新について、更新後に保護者にお知らせするようにする。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のはいっている書類は職員室で保管・管理している。玄関靴箱に使用している写真付き名札も取り扱いに留意している。	【はい】96%【どちらともいえない】2%【わからない】2%	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルは策定し、防犯に対する基本方針の書類を作成した。新型コロナウイルス感染防止についての対応の書類を新しく作成し、保護者に配布した。	【はい】79%【どちらともいえない】2%【いいえ】4%【わからない】15%【ご意見】知らない。	契約時等に説明し、今後も保護者に周知していただけるように努める。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練を行ない、消防署の人に指導・助言をいただいている。児童の特性を配慮し、児童のいない時間帯に実施している。	【はい】34%【どちらともいえない】10%【いいえ】2%【わからない】54%【ご意見】知らない。	避難訓練を実施した場合には、ホームページ等に記載し、保護者に知っていただくように努める。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止の研修会等の受講の機会を確保できるように努めている。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	利用契約時に、安全のために児童の行動を制止することがある事をお伝えしている。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供は行っていない。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例があった場合、書類を作成し、全職員に回覧するようにしている。		

